

地域に根差す、足利赤十字病院の広報誌

風流鯨

— かせながすくじら —



ご自由にお持ち下さい
Take Free

2023.10 Vol.43



Organization Accredited
by Joint Commission International



日本医療機能評価機構

- 診療科紹介〈呼吸器外科〉
- 看護部紹介
- 病院機能評価の認定を更新
- 中華醫事科技大學(台湾)の実習生受け入れ
- 救護活動報告 ~日光男体山登拝大祭について~
- 栃木県・那須塩原市総合防災訓練



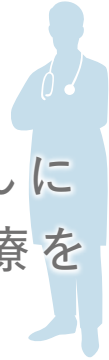
TOPICS

- 第25回病診・病病連携懇話会開催
- 第61回日本赤十字社東部ブロック体育大会結果報告
- 野球部 天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント出場
- 足利花火大会清掃ボランティア
- コメディカルの豆知識
- ナイスハートバザール
- 栄養課の窓
- 理念・基本方針

診療科紹介

呼吸器外科

各部署と連携し
それぞれの患者さんに
最適かつ安全な治療を
提供していきたい



第一呼吸器外科部長 志満 敏行先生

令和5年7月より足利赤十字病院呼吸器外科部長を拝命いたしました志満敏行(しまとしゆき)と申します。肺癌を中心とする呼吸器外科手術全般につき慶應義塾大学病院、国立がん研究センター中央病院、がん感染症センター都立駒込病院で研鑽を積み、当院に着任いたしました。当院は、両毛地域の伝統ある基幹施設であり、呼吸器外科は慶應義塾大学外科学教室からの人事により診療体制を築いて参りました。現在は常勤1名体制となっておりますが、慶應義塾大学と密接に連携し、胸腔鏡手術やロボット手術など最新かつ患者さんに負担の少ない手術を提供できる環境を整えております。これまで先輩方が築き上げた伝統を継承しつつ、呼吸器外科領域の診断・手術にこれまで以上に幅広く対応し、それぞれの患者さんに最適かつ安全な治療を提供していきたいと思っております。

呼吸器外科では、主に胸部疾患(心臓・大血管・食道・乳腺を除く)の外科治療を行います。多くは肺癌をはじめとした肺の疾患が対象となりますが、それ以外にも気管・縦隔・胸壁・胸膜・横隔膜の良性・悪性疾患も扱います。これらの疾患は、診断にも専門性が必要になることがあります。当科では”胸部の異常陰影”という段階から患者さんをご紹介頂き、呼吸器内科・放射線科と連携し、それぞれの患者さんにとって最適な診断方法を提案

いたします。検診、人間ドックで“胸部の異常陰影”を指摘された際には、かかりつけの医師を介して、発見からあまり時間を空けずに当院呼吸器専門医(呼吸器外科または呼吸器内科)に受診することをお勧め致します。足利赤十字病院には、胸部疾患の診断と最適な治療を行う各部署の専門医が揃っておりますので、診断から治療まで是非我々にお任せいただければと思います。また気胸や外傷など救急診療を要する病態にも直ちに対応できる体制を敷いています。

両毛地区の呼吸器診療に貢献できますよう尽力いたしますので、何卒宜しくお願い致します。



看護部紹介



看護部理念

足利赤十字病院の理念に基づき、患者さん一人ひとりを尊重し、安心と満足が得られる看護を提供します。

1 教育への取り組み

新人からベテラン看護師まで、さらなる新しい知識・技術を見つけることができるよう、年間を通して計画的に研修を行っています。他にも、認定看護師など専門的な資格取得へのバックアップをしております。感染管理、褥瘡管理、認知症看護など、看護師研修会などで看護職員に新しい知識伝達の場を設けております。

最近では、ITの環境も整い、様々なWeb研修がいろいろなデバイスから受けることができるようになりました。今まで、研修を受ける機会が少なかった看護助手も受けることができるようになり、さらに看護師との連携がはかれるようになったように思われます。

また、これから看護師を目指す看護学生の臨地実習に、指導者としてかわらせてもらうことで、知識・技術の再確認や今の若者の特徴などを知るよい機会となっています。

2 地域との関わり

看護の場を離れ、足利花火の後の清掃や、今年は雨のため延期となってしまいましたが、毎年織姫山の境内の掃除などを通して、ボランティアとして協力させていただいています。普段、顔を合わせることの少ない他部署の職員と接する貴重な時間であるとともに、笑顔の絶えない空間でもあります。

さらに、SNSへ研修の様子やイベントなど看護部からも発信をしております。入院中に接している看護師だけではなく、いろいろな場面での看護師を知っていただく機会となると思います。

今年から夜間ナースアシスタルバイトの雇用が始まりました。当初、勤務時間帯が夜間であること、年齢層や生活背景が様々であることから、どのような役割を担ってもらえばよいのか困惑もありましたが、看護部全体で意見を出し合い、ナースアシストの方々の協力もあり、今では夜間の忙しい業務をサポートしてもらえるようになりました。

今年度より、新看護部長の就任もあり、新しい看護部が生まれました。地域の中核病院として、患者さんだけでなく、患者さんだけが提供できないような、看護部は日々取り組んでおります。



病院機能評価の認定を更新

一般病院2/
3rdG:Ver2.0

令和5年2月16日(木)・17日(金)の2日間で病院機能評価認定の更新審査を受審し、令和5年7月7日(金)付で認定を更新しました。

4つの評価対象領域と確認される主な内容

●第1領域:患者中心の医療の推進

患者安全や倫理面などに対する病院組織の検討内容、意思決定の姿勢など

●第2領域:良質な医療の実践1

病棟での患者への診療・ケアの実践状況など

●第3領域:良質な医療の実践2

各部門・各部署の機能の発揮状況や取り組み状況など

●第4領域:理念達成に向けた組織運営

病院全体の基盤となる病院組織の運営・管理状況など



病院機能評価とは

病院機能評価とは、医療機関の運営管理や提供される医療等を中立的・科学的・専門的な見地から評価する制度です。各専門領域(診療、看護、事務、薬剤、療法士)の知識と経験を有する評価調査者(サーベイヤー)がチームで病院を訪問し、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて審査を行います。国内で最も認知度が高い医療機能の第三者評価であり、全国の病院の約25%にあたる2,002施設がこの認定を取得しています。(令和5年5月末日時点)



参考:公益財団法人 日本医療機能評価機構「病院機能評価事業」 <https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/>

更新審査の概要

審査は6名の審査員によって行われ、4つの評価対象領域・89項目が厳正に評価されました



約400冊の院内規程・マニュアル・委員会記録等が1冊1冊隅々までチェックされました。



指定された症例について、カルテレビューを通して外来から退院までのプロセスが厳しく確認されました。



病院幹部や各部署長に対して面接調査が行われ、病院の体制や方針が入念に確認されました。



院内全域が評価調査者の訪問を受け、各部署の機能や取り組みの状況が細かく評価されました。

更新審査を終えて

当院は平成12年に初めて病院機能評価の認定を受けてから、今回で5回目の認定となります。患者さんへ質の高い医療を提供し続けるためには、自院の努力だけでなく、このような第三者の評価を受けることによって、病院の位置付けや問題点を明らかにすることが重要です。

今後も地域の皆さまへ安心・安全な医療を提供し続けるため、現状に満足することなく継続的な改善に取り組んで参ります。



▲認定証を掲げる室久院長(左)と病院機能評価受審部会長を務めた五十樓副院長(右)

中華醫事科技大學(台湾)の実習生受け入れ

当院と同大学は、平成27年6月に医学向上を目的として相互人事交流協定を締結し、実習生の受け入れを始めました。この実習は、台湾と日本(足利赤十字病院)の医療文化の違いを知る・チーム医療における看護等医療者としての実際を学び、役割を理解する・当院における各部門の役割を理解し、病院業務を把握するという3つのねらいがあります。

近年、コロナ禍の影響で受け入れを中断しておりましたが、今年は状況を鑑み、7月14日(金)から8月14日(月)の約1ヶ月間に6名、9月1日(金)から9月30日(土)の約1ヶ月間に4名の2グループ合計10名の受け入れを行いました。受け入れは令和元年以来4年ぶりとなります。

第5期となる今年度は、看護部門・検査部門・事務部門で実習を行い日本の医療について学びました。来院した10名の学生は、多くの希望者の中から選ばれたとても優秀な方々です。この実習が将来、医療従事者として活躍する彼らの役に立てればと思います。



救護活動報告 ~日光男体山登拝大祭について~

4年ぶりの開催となった今回の登拝大祭は、約250人の登山者が参加しました。この大祭は、8月1日の午前0時以降に男体山麓の二荒山神社を出発し約6kmの道のりを通常3~4時間かけて登頂し御来光を迎えるもので、1200年以上もの歴史をもつイベントです。

日本赤十字社栃木県支部は、毎年県下三病院からの救護班要員と共に救護所運営を行っています。当院からは、看護師2名・主事1名の3名の救護員が参加し、怪我や体調不良で救護所に来られた登山者へ救護活動を行いました。日赤以外にも自衛隊・栃木県警・地元柔道整復師会などが、神社のスタッフと連携しながら活動を行いました。救護所は神社内・4合目・7合目・山頂の4か所に設置され、当院は山頂の担当でした。7月31日の15時頃に7合目救護所まで自動車移動し約10kgの荷物を背負って2時間ほどかけ山頂まで登りました。救護所は8月1日の午前1時に開設し、交代で午前8時まで救護活動を行いました。雷雨と強風の中、山頂は海拔2,486mで空気も薄く夜間には10℃以下に低下する環境で体力的にもかなり厳しい状況でしたが、このような歴史あるイベントが再開されたことを嬉しく思います。変わりゆく社会情勢の中、変わらぬ救護員としての使命を全うできるよう今後も努めてまいりたいと思います。



栃木県・那須塩原市総合防災訓練

9月3日(土)に那須塩原市で開催された「令和5年度栃木県・那須塩原市総合防災訓練」に当院の救護班が参加しました。

栃木県総合防災訓練は、消防・警察・自衛隊などをはじめ約100の機関・団体から1,000人以上が参加する大規模な訓練です。実践をとおして、大規模災害発生時における各機関の応急対策や相互の連携を確認します。今回の訓練は「記録的な豪雨により河川の氾濫や土砂崩れが起き、家屋やライフラインに甚大な被害が発生した」という想定です。当院の救護班は、他の赤十字施設や消防、警察、自衛隊などと協力して救護所の設営や傷病者の救護を行いました。

災害はいつ起こるか分かりません。常日頃から万が一の事態に備えておくことが重要です。災害拠点病院として地域の皆さまが安心して生活が送れるよう、引き続き訓練を行って参ります。



第25回病診・病病連携懇話会開催

2023年8月24日(木)に第25回病診・病病連携懇話会を開催いたしました。

足利赤十字病院は、地域医療支援病院としての役割を果たすため、地域の医療機関との連携をさらに強化なものとし、濃厚な「顔の見える」連携にすべく、日々努力精進しているところでございます。

病診・病病連携懇話会は足利市医師会、佐野市医師会、太田市医師会、館林市邑楽郡医師会、桐生市医師会でご登録されている医療機関の先生方をお招きして、医療連携推進の場としてご活用いただく会です。

第一部では、放射線治療部 塚本 信宏 シニアディレクターにサイバーナイフについてご講演いただき、第二

部では、懇話会が行われました。懇話会では、足利赤十字病院の地域連携の現状についてや、地域の医療機関の先生方の要望について対面で話し、大変有意義な意見交換をすることができました。

今後におきましても地域医療支援病院として、断らない緊急紹介、安心できる質の高い医療を提供するとともに地域完結型の医療を確立するため、増々の地域連携充実のため尽力する所存でございます。



第61回日本赤十字社東部ブロック体育大会結果報告

9月17日(日)に第61回日本赤十字社東部ブロック体育大会が開催されました。当院からはテニス部、フットサル部、バレーボール部が出場し、テニス部、フットサル部が準優勝、バレーボール部がベスト8となりました。

この結果、10月に岐阜県で開催される第20回全国

赤十字病院スポーツ大会にテニス部、フットサル部が出場することが決定しました。

なお、第20回全国赤十字病院スポーツ大会には、テニス部、フットサル部の他に野球部、駅伝部が出場いたします。各部、更なる活躍を期待しています。



テニス部



バレーボール部



フットサル部

天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント出場

当院野球部は、7月に行われた県予選を勝ち抜き、9月15日から香川県で開催された上記大会に栃木県代表として出場いたしました。

同大会は、軟式野球最高峰の大会であり、今大会で7回目の出場となりました。過去最高成績のベスト8以上を目標に臨みましたが、2回戦で敗退となりました。応援いただきました方々、ご支援ご協力いただきました方々には心より感謝申し上げます。

今後も野球ができる環境、支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを忘れず、全国上位を目指し日々精進してまいります。引き続き、熱い応援をよろしくお願いいたします。

詳細は以下のとおりです。

- 1回戦 VS アムロン株式会社(香川県代表) ○ 2対0
- 2回戦 VS 福岡サニクリーン(福岡県代表) ● 1対3



足利花火大会清掃ボランティア参加

8月6日(日) 早朝より足利花火大会開催後の清掃を行いました。平成15年からこの清掃ボランティアを開始し、今では毎年の恒例行事として定着しています。職員総勢250名が集結し、額に汗をかきながら、河川敷に散らばった花火の破片などを拾い集めました。



コメディカルの豆知識

带状疱疹ワクチン



带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスの再活性化により発症します。罹患率は50歳代から上昇し、80歳までに3人に1人がかかるといわれています。また、50歳以上の患者の5人に1人で带状疱疹後神経痛が認められました。これは带状疱疹の皮疹が消失した後も残存する疼痛で、90日以上痛みが続く症状のことを言います。

带状疱疹ワクチン接種対象者は、50歳以上、带状疱疹に罹患するリスクの高い18歳以上の者となっております。筋肉内に2回注射します。主な副反応として、疼痛、発赤、腫脹、胃腸障害、頭痛、筋肉痛、疲労、悪寒、発熱が報告されています。ワクチン接種し、带状疱疹を予防していきましょう。

ナイスハートバザール

皆さまのお越しをお待ちしております

ナイスハートバザールとは…
障害者就労支援事業所の取り組みを広く周知すると共に、そこで作られた商品の販売促進を図るイベントです。

出張販売



時間 午前10時～午後1時(売切れ次第終了)

場所 足利赤十字病院 正面玄関付近

販売日	販売商品(事業所)
12月14日(木)	● シフォンケーキ、焼き菓子等(しあわせスイーツだんだん) ● かぼちゃプリン、焼き菓子、生キクラゲ、生鮮野菜等(やまゆり学園)
1月11日(木)	● シフォンケーキ、焼き菓子等(しあわせスイーツだんだん)
1月25日(木)	● 漬物、クッキー、パン等(和泉) ● パウンドケーキ、カヌレ、コーヒー等(水車)

※事業所の都合により、販売内容が変更となる場合がございます。

栄養課の



今注目の“ビタミンD”って
どんな栄養素？

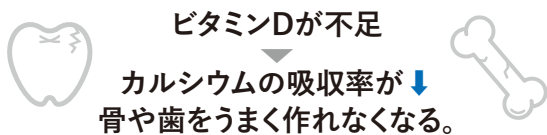
ビタミンDについて

冬は、骨折や感染症が増える季節です。その一因として日光を浴びる時間が短くなることやビタミンD不足が考えられています。冬を迎える前に、ビタミンDを意識した生活を心がけましょう。

(※サプリメント利用の際は、過剰摂取に注意が必要です。)

主な働き

- ① 骨の形成と成長をサポート
カルシウムの吸収を高め、骨や歯に届ける。
- ② 免疫機能を調整
体内に侵入した細菌やウイルスに対して、必要な免疫機能を促す。



高齢の方は骨粗しょう症や骨折のリスクが↑

ビタミンDを多く含む食品

目安量：18歳以上男女8.5μg/日



ビタミンDは適度な日光浴によって皮膚でも作られます。



きのここと鮭の
レンジ味噌マヨ

■栄養成分(1人前)
エネルギー……319kcal
たんぱく質……24.8g
脂質……20.8g
炭水化物……5.2g
食塩相当量……1.9g
ビタミンD……23.3μg

材料 [1人前]	●しめじ……1/2パック(50g)	★味噌……小さじ1
	●塩鮭(甘口)……1切れ	★マヨネーズ……大さじ1
	●小口ネギ……少々	★酒……大さじ1

作り方 出典：ごはんにぴったりレシピ(農林水産省)

- ① しめじは小房に分ける。鮭は食べやすい大きさに切る。
- ② 耐熱容器に①を並べて、★をあわせたものをかける。
- ③ ふわっとラップをし、電子レンジで1~2分加熱する。
- ④ 小口切りのネギをかけてできあがり!

管理栄養士 高橋 智慧

理念

患者の皆さまがかかってよかった
職員のひとりひとりが勤めてよかったと言える病院を創ります。

The well-being of ours is dedicated to establishing a hospital,
where our patients feel comfortable to have treatment and care,
where each individual staff is happy to work for.

基本方針

われわれ全職員は基本方針を守ります。

- 1 『人道と博愛』の赤十字精神を心に、患者さま中心の医療を行います。
- 2 急性期病院としての機能と役割を、高い水準で発揮できるよう、日々励みます。
- 3 地域における基幹病院として、地域医療機関との連携を深め、住民の健康増進に努めます。